

地域医療連携だより



当院は、一般財団法人日本医療教育財団による外国人患者受入れ医療機関認証制度 (ver.2.0) を受審し、2017年5月22日付で認定されました。
今後も多くの外国人の方々が安心・安全に医療サービスを楽しむ体制を提供して参ります。

JMIP ってなに？



外国人患者受入れ医療機関認証制度

Japan Medical Service Accreditation for International Patients

英語の頭文字 4 つを組み合わせて **JMIP**

理念

- ・思いやりの心
- ・地域社会の信頼
- ・職員相互の信頼

基本方針

- ・ブリッジ・ザ・ギャップス
- ・患者さんの権利尊重
- ・信頼の医療に向けて
- ・地球にやさしい環境づくり

環境方針

- ・省資源・省エネルギーの推進
- ・廃棄物の3R (減らす、再使用、再資源化)の推進
- ・安全性・快適性の推進
- ・環境広報活動の推進

JMIPは「医療を必要とするすべての人に、安心・安全な医療サービスを提供できる体制づくり」をめざす認証制度です。多言語による診療案内や、異文化・宗教に配慮した対応など、外国人患者さんの受入れ体制を評価するものです。

外国人観光客への医療支援 国際医療支援室

日本を訪れる外国からの旅行者は年々増加しており、ここ京都でも多くの外国人であふれています。また観光客だけでなく外国人労働者の受け入れ拡大も進められており、日本に滞在する外国人はこれまで以上に増えることが予想されます。このような状況下で日本の医療機関を受診する外国人患者さんも増加の一途をたどっています。

外国人の診療に際しては、言語の問題はもちろん、経済的な問題、文化的背景の違い、海外旅行中という特殊な状況下であることなど、通常の日本人診療とは異なった対応や配慮が必要となります。そのために当院では国際医療支援室を設置し、外国人患者さんに配慮した対応をしています。



救急科 医長
国際医療支援室 室長
永野 明範

国際医療支援室の役割

外国人がケガをしたり病気になったとき、どのような医療が受けられるのか、また、ドクターの診療内容や治療費などを伝える橋渡しをしたり、旅行保険の確認や診断書の手配など、専門的な知識や能力がとても重要です。

こうした場面で活躍するのが医療通訳と外国人向け医療コーディネーターです。

英語はもちろんのこと、中国語、イタリア語を母国語とする通訳担当スタッフがおりますので、お気軽にご相談ください。通訳者不在時などはタブレット端末による通訳サービスを利用して、患者さんとのコミュニケーションを図ります。



京都の国際医療の砦を目指して

当院を受診する外国人患者さんは年々増加しており、昨年度は年間 1600 名以上の方が受診しました。また他の医療機関、行政からも多数の視察、研修を受け入れており、当院の国際医療への取り組みには高い評価が集まっています。2020 年には東京オリンピック、2025 年には大阪・関西万博開催を控えており、今後ますます外国人観光客が増えることは間違いありません。

当院は京都の玄関口に位置しており、京都の国際医療の砦となることを目指します。

= 対応可能な診療科 =

内科

循環器内科

外科

心臓血管外科

脳神経外科

※ その他診療科につきましては、裏面記載の連絡先までお問い合わせください。

ト ラベルクリニックとしての役割

当院では外国人診療の必要性を早くから認識し、通訳を含めた院内診療やサポート体制、多言語表記での案内などの整備を行ってきました。その取り組みが評価され、2017年5月には国の事業の一環であるJMIP認証を受けました。京都でこの認証を受けている医療機関は3病院のみです（2019年11月現在）。

国際医療支援室を中心に、英語や中国語の専任通訳や、海外の文化、医療事情に精通したスタッフを配置し、外国人患者さんが安心して医療が受けられる環境づくりに病院全体で取り組んでいます。また、当院では国際渡航医学会（ISTM）や日本旅行医学会から認定を受けた旅行医学専門医によって、旅行者に特有の疾患についても適切な医療が受けられるよう努めています。

今後はアウトバウンドにおける渡航前のワクチン接種や渡航先の感染症情報の提供、帰国後の健康相談に対応するなど、トラベルクリニックとしての役割をさらに強化していきます。



私たちが国際医療支援室のメンバーです

患者さんに寄り添うサポートを

京都駅からすぐという立地条件もあり、中国、アメリカ、オーストラリア、フランスなどさまざまな外国人観光客の方が受診に来られます。

右記の事項を確認し、診療時に医師とのやりとりに通訳したり、治療費や保険などの説明をします。

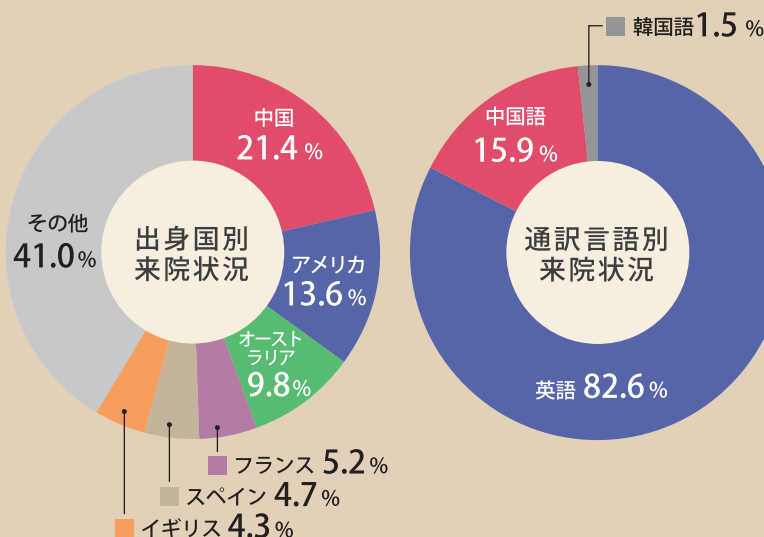
突然知らない土地で体調が悪くなり、ましてや、初めてかかる病院での治療は誰でもとても不安になると思います。

私たち国際医療支援室のスタッフは、患者さんに寄り添いながら少しでも安心していただけるように、正確に通訳することを心掛けています。

確認事項

- どういう症状がいつから出始めたのか
- パスポート、国籍
- 会話可能な言語
- 旅行保険加入の有無
- 保険会社への連絡
- 診断書の要否
- 処方薬の要望

など



● 当院を受診した外国人患者さんの出身国は、中国、アメリカ、オーストラリア、フランスなどさまざまです。（グラフ左）

● 当院を受診した外国人患者さんの通訳言語は、英語・中国語・韓国語でほぼ100%を占めています。出身国はさまざまですが、英語で会話するケースが多いことが分かります。（グラフ右）

※平成30年度調べ



下京区での搬送例をもとに救急対応の改善を目指す「救急症例検討会」が8月30日、康生会武田病院外来棟3階会議室で開催され、京都市消防局下京消防署より9名と当院の救急運営委員会のメンバーらによるディスカッションが行われました。

下京消防署長の挨拶の後、消防係長が、最近の救急統計・救急医療の現状を説明されました。当院の受け入れ状況については、年間5700件にのぼる実績をはじめとする救急医療への積極的な取り組みについて高い評価をいただきました。

当院からは脳卒中センターの定政信猛部長が、「脳卒中・循環器病対策基本法と今後の脳卒中センター計画について」と題し、新たに法整備される「脳卒中・循環器病対策基本法」を取り上げました。救急隊による病前脳卒中スケールと発症時間で緊急 t-PA や血管内治療、外科手術などが可能な特定の病院への搬送の重要性についても説明しました。当院では常に組織的な改善を続けており、少しでも早く治療を開始できるように努力を続けていると強い意気込みを述べました。



■ レスパイト入院のご案内

在宅療養・介護で介助をされるご家族や関与する医療スタッフの皆様方が限界を超えることのないよう、当院ではレスパイト入院の対応に取り組んでいます。年末年始を控えておりますので、あらためて開業されている先生方にご利用の案内をさせていただきます。

右のご案内文をFAXさせていただいておりますので、「レスパイト入院」をご利用される際は患者サポートセンター（TEL:075-361-1352）までご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

今後当院では、開業医の先生方のご協力のもと、地域の医療環境の向上に務めてまいります。

レスパイト入院のご案内



(医院・診療所向け)

当院では院内の病床を利用しレスパイト入院の受入れをしております。
レスパイト期間は 〇月〇日～〇月〇日
(期間は相談内容に応じて対応させていただきます)

申込の流れ

1. 患者サポートセンターへ電話にて依頼ください。
2. 診療情報提供書の事前FAXをお願いします。
※日程やお時間調整など相談対応させていただきます。
※日程によっては主治医の診察のない場合があります。
※年末年始ですので精密目的・治療目的の入院ではないことをご了承ください。

令和元年11月1日現在

レスパイト受入れ床	受入れ空床状況
15床	0床

お問い合わせ先

康生会 武田病院 患者サポートセンター
TEL: (075) 361-1352 (直通)
FAX: (075) 361-1357 (直通)

※ 受付時間 月～土 午前8時30分～午後17時



受付時間

月曜日～金曜日 8:30～19:00 土曜日 8:30～17:00

※日曜日・祝日・祭日・年末年始はお休みさせていただきます。

医療機関専用

TEL (075) 361-1352 (直通)

FAX (075) 361-1337 (直通)

※患者サポートセンター 受付時間外につきましては医事部（医療事務）にて対応させていただきます

TEL (075) 361-1351 (代表) FAX (075) 361-1268 (医事部専用)

患者
サポート
センター